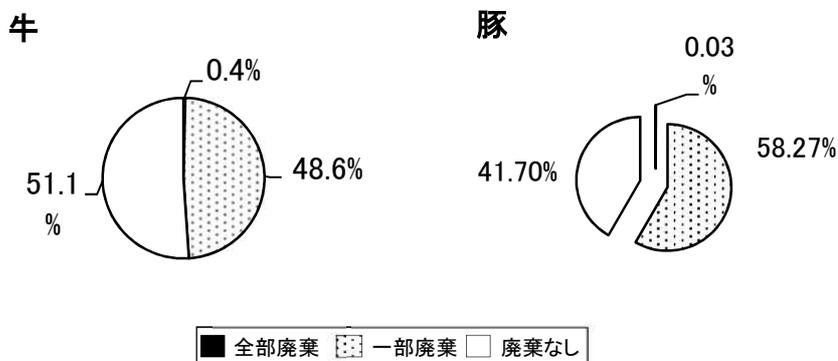


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和7年10月～令和7年12月)

畜種	牛		とく		豚		山羊	
と畜検査頭数	1,132		0		20,436		0	
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数	4	550	0	0	6	11,909	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	438	0
	ジストマ	0	1	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	1	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	5	0	0
	敗血症	1	0	0	0	1	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	1	92	0	0	0	80	0
	腫瘍	1	0	0	0	0	1	0
	炎症汚染	0	373	0	0	0	8,591	0
	変性萎縮	0	201	0	0	0	4,387	0
	牛伝染性リンパ腫	1	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	76	0	0	0	608	0	
計	4	744	0	0	6	14,105	0	

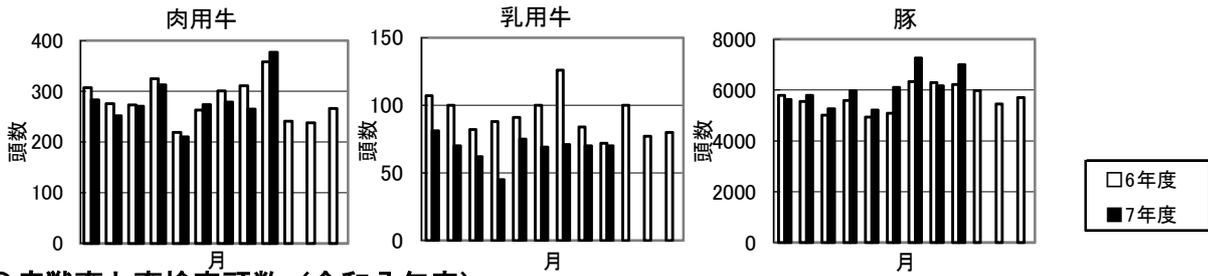
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和7年度）（とくを除く）

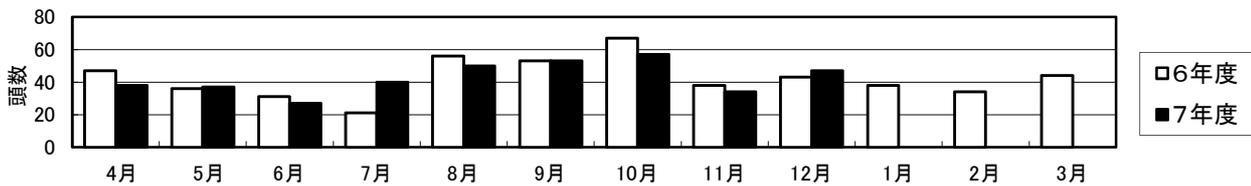
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263	301	311	358	241	238	266	3,378
7年度肉用牛	283	252	271	313	210	274	279	265	377				2,524
前年比(%)	92.2	91.3	99.3	96.3	95.9	104.2	92.7	85.2	105.3	0.0	0.0	0.0	74.7
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100	126	84	72	100	77	80	1,107
7年度乳用牛	81	70	62	45	75	69	71	70	70				613
前年比(%)	75.7	70.0	75.6	51.1	82.4	69.0	56.3	83.3	97.2	0.0	0.0	0.0	55.4
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084	6331	6296	6221	5979	5454	5699	67,949
7年度豚	5623	5792	5266	5972	5208	6108	7264	6171	7001				54,405
前年比(%)	97.0	104.3	105.1	106.9	105.4	120.1	114.7	98.0	112.5	0.0	0.0	0.0	80.1

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	47	36	31	21	56	53	67	38	43	38	34	44	508
7年度	38	37	27	40	50	53	57	34	47				383
前年比(%)	80.9	102.8	87.1	190.5	89.3	100.0	85.1	89.5	109.3	0.0	0.0	0.0	75.4



10月～12月の病獣畜138頭の内訳は、牛が86頭、豚が52頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和7年10月～令和7年12月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	137	137	0	99.3
時間外(上記以外)	1	0	1	0.7
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	138	137	1	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和7年10月～令和7年12月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	18	4	2	39	9	3	1	1	0	1	60	138
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
頭数割合(%)	13.0	2.9	1.4	28.3	6.5	2.2	0.7	0.7	0.0	0.7	43.5	

☆検査室等における精密検査（令和7年10月～令和7年12月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子			病理組織
牛及びとく	2	敗血症			16				1	1	
		膿毒症								0	
		尿毒症								0	
		高度の黄疸								0	
	1	高度の水腫	1						1	0	
	2	牛伝染性リンパ腫			1	2		18	1	1	
	1	腫瘍の多発						9	1	0	
	6	計	1	0	16	1	2	0	27	4	2
豚	1	敗血症						8		1	0
	5	膿毒症		5						5	0
		尿毒症									0
		高度の黄疸									0
		高度の水腫									0
		豚丹毒									0
		白血病									0
	6	計	5	0	8	0	0	0	0	6	0

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和7年10月～令和7年12月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	病畜	86	172	84	2	0	2	0	0	0	170
豚	保留	9	18	9	0	0	0	0	0	0	18
	病畜	52	104	52	0	0	0	0	0	0	104
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	4	8	4	0
豚	30	60	30	0
鶏	1	2	1	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和7年10月～令和7年12月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所

TEL:086-272-8399

FAX:086-273-2019

E-mail:shokunikueiseikensasho@city.okayama.jp

郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

1～3ページについて、ホームページでも公開しています。

<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>